

＜温熱レポート＞

もっと、
ずっと、
いい日

隔月刊「もっと、ずっといい日」
発行 / 2019.9.25
株式会社MOZU 東京都新宿区西新宿3-17-7
Tel / 03-5755-3150
企画・編集 / スタッフHMNS
無断禁転載・非売品(会員誌)

【監修】



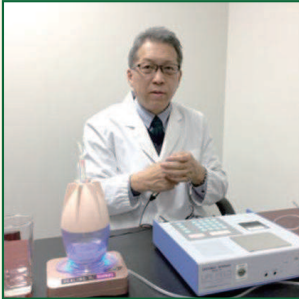
一般社団法人
温熱療法協会
Hyperthermia Association

万物と人体の調和状態を波動でチェック
日本の波動測定第一人者が評価した
遠赤王『日だまり』の高い波動数値

波動とは微弱な
エネルギーや生体反応

波動測定。日本ではまだまだ馴染みが浅い測定分野ですが、医療先進国、特にドイツなどでは多くの医療機関で用いられています。そもそも波動とは何なのでしょう。それを測定することで何が分かるのでしょうか。

物理学の世界では、波動とはなんらかの物理量の周期的変化が空間方向に伝播する現象をいうそうです。とても難解な説明ですね。先生によれば、「人間をはじめあらゆる物質が持っている微弱で繊細なエネルギー



ひさなが しゅうじ
久永修二

波動測定士。1958年。鹿児島県生まれ。大学卒業後、民間企業に勤務。その後、波動測定器と出会い波動測定活動を行い、2000年に新宿野村ビルに一般社団法人LFA波動研究所設立。2007年に中国北京市に招聘され波動測定を実施。2013年ハワイ国際大学より多年にわたる波動測定による社会貢献で表彰を受けている。

や生体反応」をそう呼ぶのだ
といいます。

あらゆる物質は原子の集合体から成っています。人間もそうです。私たちの体は、60兆個の細胞の組織体で、細胞は原子団から構成され原子は原子核と電子からできています。

当然、体を構成する各器官や組織は、それぞれ固有の原子を持っており、微弱なエネルギーを放射しています。波動はその電子の回転運動で起こる波です。

体の器官ごとに出している波動は、それぞれ異なっている。波動測定で調べることによって自分が気付いていない未病段階の異常を発見したりすることができるといいます。

広範に及ぶ
測定可能対象物

この波動測定が優れているのは、調べる対象物が体に与える効果の度合いを調べることができる点にあります。測定可能項目は3千以上。

評価は数値で表します。プラス20〜マイナス20の範囲で測定され、プラスの「効果」が高いことを示しています。測定対象は体・臓器の各部位、精神や思考など実に広範です。

遠赤王の『日だまり』については、体の部位毎、例えば免疫や自律神経系、血液循環等々に対してどのような「効果」が期待できるのかを、多面的な項目にわたって測定をお願いしました。

いずれとも評価基準は、日本における波動測定の先駆者で屈指の権威である久永先生をして「驚かされるほど良い」と言わせるほどの数値を示しました。あらためて『日だまり』の真価を再認識させられました。

ちなみに、筆者は先生とは長い付き合いの関係ですが、先生は医者をはじめ多くの医療従事者から測定依頼を求められるほど高く評価されている波動測定士です。

誰でもわかる薬機法入門講座⑥

知らないではすまされない関連法規 ～法令遵守精神で正しい製品普及を～

前号で記述したように、「MOZU」の製品は医療用機器の認可を得ている製品以外は、薬機法第66条が定義するところの分類に該当はしません。医療機器でも再生医療用の機器でもないからです。

しかし、販売の仕方如何では、薬機法違反になることは、事例をあげて説明しましたが、ではそもそも法律で医療機器とはどういうものをいっているのでしょうか。医療機器規制国際会議では「医療機器とはあら

ゆる計器、機器類～(略)のもとで人体への使用を意図し、その使用目的が、疾病や負傷の診断、予防、監視、治療、緩和等～(略)に用いられるもの」と定義しています。

ところで、医療機器と言う呼び名は、医療機器、医療器と幾つかあることをご存知でしょうか。日本における医療機器法規である薬機法、品質マネジメントシステム規格では「医療機器」の名称が使用されています。医療機器のうち電気機器のものは、以前は

医用電気機器あるいは医用機器と呼称されることもありましたが、日本工業規格(JIS)やその副通則では「医用電気機器」の名称が使用されています。医療機器の種類は広範にわたっていますが、その使用目的から大きく分けると治療機器群と診断機器群、分析機器群などに分類されます。これ以外にもありますが、次号に譲ります。